

第22回 全日本漁港建設協会セミナー

新漁港建設業将来ビジョン始動 ～漁港漁場漁村整備の可能性～

講師（講演順）

- 進藤 金日子 参議院議員・自由民主党 水産総合調査会副会長、漁港漁場整備長期
計画検討委員会事務局次長
- 堀 正和 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所沿岸生態系暖流域グループ長
- 田中 郁也 水産庁漁港漁場整備部計画課長

日時・場所

令和3年10月12日（火）13:30～17:00

『石垣記念ホール』※オンライン配信による受講もできます。

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル9階（TEL：03-3582-7451）

参加費：無料

ご案内

（一社）全日本漁港建設協会では、かねてより学識者の講演と質疑応答により、新しい時代の地域建設業の在り方、漁港を核とした地域の活性化等について、厳しい現況の打開と将来に希望の持てる建設業を考えるためのセミナーを実施して参りました。その22回目として、今年のテーマは、「新漁港建設業将来ビジョン始動～漁港漁場漁村整備の可能性」としました。

漁港建設業は、漁港や漁場整備など水産日本を支える礎の構築とともに、漁業地域においては災害時における地域の守り手としてなどなくてはならないエッセンシャルワーカーとして大変重要な役割を果たしています。しかし、近年、地球温暖化に伴う水産資源の減少や自然災害の多発・激甚化、新型コロナウイルス感染症の拡大など、漁港建設業を取り巻く環境も大きく変化しています。また、政府全体として、カーボンニュートラルやデジタルニューディールなど新たな課題への対応も求められています。このため、当協会では、本年5月、地域社会に貢献する漁港建設業の将来あるべき姿と変革期にある漁港建設業の健全な発展に向けた課題と目標を整理した「新漁港建設業将来ビジョン」をスタートさせました。

今回のセミナーでは、この新ビジョンにおいて掲げた「安定した利益の確保」や「希望の持てる漁港建設業」等の課題解決に資するため、次期漁港漁場整備長期計画の方向性、ブルーカーボンとしての藻場の役割と評価、コロナ禍における漁業漁村の活性化対策など、今後の漁港漁場漁村整備の可能性を探るテーマに焦点を当て、セミナーを開催することとしました。

大勢のご参加をいただき、これからの日本と地域建設業の在り方について議論を深め、知恵と活力を涵養していただきますよう心から願っております。

一般社団法人全日本漁港建設協会 会長 岡 貞行

< 講師プロフィール（講演順） >

○進藤 金日子（しんどう かねひこ）



自由民主党水産総合調査会副会長、自由民主党農林部会部会長代理、漁港漁場漁村整備促進議員連盟会員、全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問技術士(農業部門)

1963年 秋田県生まれ
1986年3月 岩手大学農学部農業土木学科 卒業
1986年4月 農林水産省入省
1995年2月 在チリ日本大使館書記官
2006年4月 熊本県農林水産部農村計画・技術管理課長
2009年4月 農林水産省関東農政局整備部設計課長
2013年4月 農林水産省農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室長
2013年7月 農林水産省農村振興局整備部設計課首席農業土木専門官
2014年12月 農林水産省農村振興局農村政策部中山間地域振興課長
2015年6月 農林水産省辞職
2016年7月 第24回参議院議員通常選挙初当選
2019年9月 総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官

現在に至る

○堀 正和（ほり まさかず）



国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 沿岸生態系暖流域グループ長、東京海洋大学大学院海洋生命資源科学専攻 客員教授、博士(水産科学)

1974年 大阪府生まれ
1998年3月 北海道大学水産学部水産増殖学科 卒業
2003年3月 北海道大学大学院 水産科学研究科 環境生物資源科学専攻 博士後期課程 修了
2003年4月 日本学術振興会特別研究員（東京大学大学院農学生命科学研究科）
2006年4月 独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所 任期付研究員
2011年10月 同 主任研究員
2020年7月 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター社会・生態系システム部 沿岸生態系暖流域グループ長
2021年4月 東京海洋大学 大学院海洋生命資源科学専攻 客員教授
2021年6月 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 顧問

現在に至る

○田中 郁也（たなか いくや）



水産庁漁港漁場整備部計画課長

1964年 福岡県生まれ
1991年3月 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻 修了
1991年4月 農林水産省水産庁入庁
2012年4月 長崎県水産部参事監
2017年7月 国土交通省北海道開発局水産課長
2019年4月 水産庁水産施設災害対策室長
2020年4月 水産庁計画課長

現在に至る

プログラム 及び 申し込み要領

■スケジュール／プログラム

日時 令和3年10月12日(火)

13:00	受付開始
13:30	開 会 挨拶 一般社団法人全日本漁港建設協会会長 岡 貞行
13:35	話題提供「新漁港建設業将来ビジョンの概要」 一般社団法人全日本漁港建設協会会長 岡 貞行
13:55	講 演1「次期漁港漁場整備長期計画の方向性」 自由民主党 漁港漁場整備長期計画検討委員会事務局次長 参議院議員 進藤 金日子
14:50	(休 憩)
15:00	講 演2「ブルーカーボンとしての藻場の評価と国内外の情勢」 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 沿岸生態系暖流域グループ長 堀 正和
15:55	(休 憩)
16:05	講 演3「漁港漁場整備の重要課題」 水産庁漁港漁場整備部計画課長 田中 郁也
17:00	閉 会

■申し込み要領

- 参加費 : 無料
- 申込み方法: 別添申込書に必要事項を記入し、FAX またはメールにてお申し込み下さい。
【正会員申込先】各支部事務局宛
(※支部事務局は各支部単位に参加者を取りまとめ、本部宛に送付して下さい。)
【賛助会員及び一般申込先】本部事務局宛
(FAX: 03-6661-1166 又は Mail: info@zengyoken.jp まで)
- 申込締切日: 令和3年10月8日(金)
(支部毎の締切は、各支部事務局にお問い合わせ下さい。)
- 募集人数: 70名(現地参加人数)
※新型コロナウイルス感染症対策(別紙)のため、募集人数を限定させていただいております。
- 問い合わせ先: 一般社団法人全日本漁港建設協会 事務局
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-10 JR 八丁堀ビル 5 階
TEL: 03-6661-1155 FAX: 03-6661-1166
Mail: info@zengyoken.jp (担当: 近藤・國武)

<会場のご案内>

石垣記念ホール（三会堂ビル9階）



<交通のご案内>

最寄駅 東京メトロ

- ①南北線・銀座線 溜池山王駅「9番出口」又は「14番出口」徒歩3分
- ②銀座線 虎ノ門駅「3番出口」徒歩5分
- ③千代田線・丸ノ内線 国会議事堂前駅「3番出口」徒歩7分

<別紙>

<新型コロナウイルス感染症に対する対応について>

本セミナーの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症に対する政府の基本方針を踏まえ、以下のように対応し、感染拡大の予防に努めて参りますので、皆様にはご理解いただきますようお願い申し上げます。

◎主催者の対応

- 1) 講師・事務局のマスク着用
- 2) セミナー参加者の受付時のマスク着用、手指の消毒、検温の実施
- 3) 会場入り口での消毒液の設置
- 4) 会場内の席は、原則机に2名掛け又は1名掛け机又は、席の間隔をできるだけ開ける体制に致します。
- 5) 会場について
 - 窓開けおよび空調設備による換気の実施
(窓開けについては、窓の開閉設備のある会場で風雨等の悪天候の影響を受けない場合に限りませう。)
 - 会場扉の開放
原則、休憩時間中に限りませう。
(その他、会場によって講習会中も開放可能な場合には定期的に開放致します。)
 - その他
ドアノブ等の消毒の実施

◎参加者の皆様へのお願ひ

- 1) 参加者の皆様におかれましては、「手洗い・手指の消毒」や「マスクの着用」、「検温の実施」などの感染症予防対策へのご協力を願ひ致します。
※検温で 37.5 度以上の発熱が確認された場合は参加をお断りさせていただきますのでご了承ください。
- 2) 37.5 度以上の発熱及び普段の平熱の範囲を超える発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合等については、ご参加を控えていただきますよう願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の防止にご理解とご協力の程よろしく願ひ致します。

第22回全日本漁港建設協会セミナー 参加申込書

※Webでの受講をご希望される方は、視聴リンク通知用メールアドレスのご記入を忘れないようにしてください。
 (Web受講をお申込みの方には、視聴用のYouTubeリンクと資料ダウンロードリンクをメールでお知らせ致します。)

※Webでの受講の場合、CPDS継続学習の対象外となりますので、ご注意ください。

都道府県名	氏名	勤務先名	役職名	受講区分	メールアドレス
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
				現地・Web	
合 計			_____名		

申込担当者

勤務先名

住 所

電話番号

氏 名
